

# 自立活動だより No. 3

令和5年10月17日

大宮ろう学園 自立活動部

## 小学部重複学級の自立活動（縦割りグループでの自立活動）

小学部重複学級では、自立活動を『縦割りグループでの自立活動』、『学部（小・中・高）合同の自立活動』、『学年での活動』の3本柱で進めています。今回は縦割りグループでの自立活動について、担当教員からのコメントと実際の様子を紹介します。

### <ことば・工作・作業>

**内容・担当から**『昨年度までは粗大運動等を通じて体幹の確立や感覚統合を目指すという内容でしたが、今年度は、手先を使った学習を通じて決められた時間集中することや簡単な図案を見て見通しを持って作り上げていくなどの活動を行っています。楽しみながら自然と取り組むことができる課題を設定しています。みんな落ち着いて活動できるようになり、だんだん見通しを持てるようになってきています。』



### <日本語指導>

**内容**50音の行と段を覚える。辞書の見出し。語の並び方。様子の言葉。形容詞。手話と日本語。手話を日本語で話す。日本語を手話で話す。…等。  
**担当から**『縦割りの授業を行って特に感じるのが、学年が上の子の方が、日本語が使えるようになっていくことです。やはり小さい時からの経験の積み重ねが日本語など言葉を学んでいく上で大切だと感じます。』



### <発音聴能>

**内容**50音の発音、自分の名前の発音、あいさつ、言葉探し、季節の歌、リズムに合わせてダンス、楽器の音を聞こう、楽器を演奏しよう。

**担当から**『みんなだんだん落ち着いて来て、集中して取り組めるようになってきました。児童によっては自分で休憩を申し出て気分を変えられるようになっていきます。生活で使えるような言葉を選んで学習しています。クラスに戻って授業をする時に口話が増えた児童もいるようです。』



### <手話>

**内容・担当から**『“手話に親しもうグループ”は、日常生活でよく使う言葉や単語を中心に絵カードや映像を使って手話表現を楽しんでいます、“手話でコミュニケーションをとろうグループ”は、児童が主体となってゲーム等に取り組み、自分の意見を言ったり相手の意見を聞いたりすることでコミュニケーションを深めています。このグループではできるだけ児童主体で取り組めるよう教員は見守ることを中心とするよう心がけています。』

